

目 次

序 基本構想策定の背景、目的と策定方法	1
第1章 寝屋川市及び京阪萱島駅周辺地区の概況	3
1-1 寝屋川市の概況	3
1-1-1 寝屋川市の位置及び面積	3
1-1-2 人口・世帯数	3
1-1-3 高齢者・身体障害者等	4
1-1-4 市内の公共交通	5
1-1-5 市民の利用する主要な施設	9
1-2 京阪萱島駅周辺地区の概況	10
1-2-1 地区の概況	10
1-2-2 地区の道路網	11
第2章 京阪萱島駅周辺地区における交通バリアフリー推進の必要性和意義	12
2-1 京阪萱島駅及び周辺道路のバリアフリー化の状況	12
2-2 京阪萱島駅周辺地区における交通バリアフリー推進の必要性	16
2-3 京阪萱島駅周辺地区の将来方向と交通バリアフリー推進の意義	16
第3章 重点整備地区及び特定経路等の考え方	18
3-1 重点整備地区設定の基本的な要件	18
3-2 重点整備地区の検討	23
3-3 特定旅客施設、特定経路等の検討	24
3-4 重点整備地区及び特定経路等の設定	27
第4章 重点整備地区の整備方針	30
4-1 重点整備地区における交通バリアフリーの整備課題	30
4-2 交通バリアフリーの整備目標と目標年次	31
4-3 整備の基本方針	32
4-4 特定事業の内容	32
第5章 基本構想の実現に向けて	35
5-1 市民、事業者、市が協働して取り組むバリアフリーのまちづくり	35
5-2 基本構想策定後の取り組み	37
5-3 心のふれあいを育む交通バリアフリーのまちづくり	38
参考資料	39
参考資料-1 基本構想策定の経過及び連絡会議設置要綱等	41
参考資料-2 交通バリアフリー法の概要と仕組み	45
参考資料-3 高齢者、身体障害者等対象アンケート調査結果の概要	47
参考資料-4 タウンウォッチング調査結果の概要	55
参考資料-5 「基本構想（案）」に対する市民意見反映について	59

序 基本構想策定の背景、目的と策定方法

我が国においては、諸外国に例を見ないほど急速に高齢化が進展しており、来るべき高齢社会において、健全で活力ある社会を形成していくためには、高齢者の自立と社会参加が不可欠です。

また、近年、障害者が障害のない者と同等に生活し活動する社会をめざす「ノーマライゼーション」の理念の社会への浸透が進み、障害者が障害のない者とともに活動し、サービスを受けることができるよう配慮することが強く求められています。

このように我が国においては、高齢者、身体障害者等が自立した日常生活及び社会生活を営むことができる社会を構築する重要性が増大してきており、そのための環境の整備を一刻も早く推進していくことが求められています。

公共交通機関を利用した移動は、高齢者、身体障害者等が社会参加をするための重要な手段であり、移動円滑化を促進することは、このような社会の実現のために大きな意義を持つものです。

こうしたなか、平成 12 年 5 月に「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律（通称：交通バリアフリー法）」が公布され、同年 11 月から施行されました。

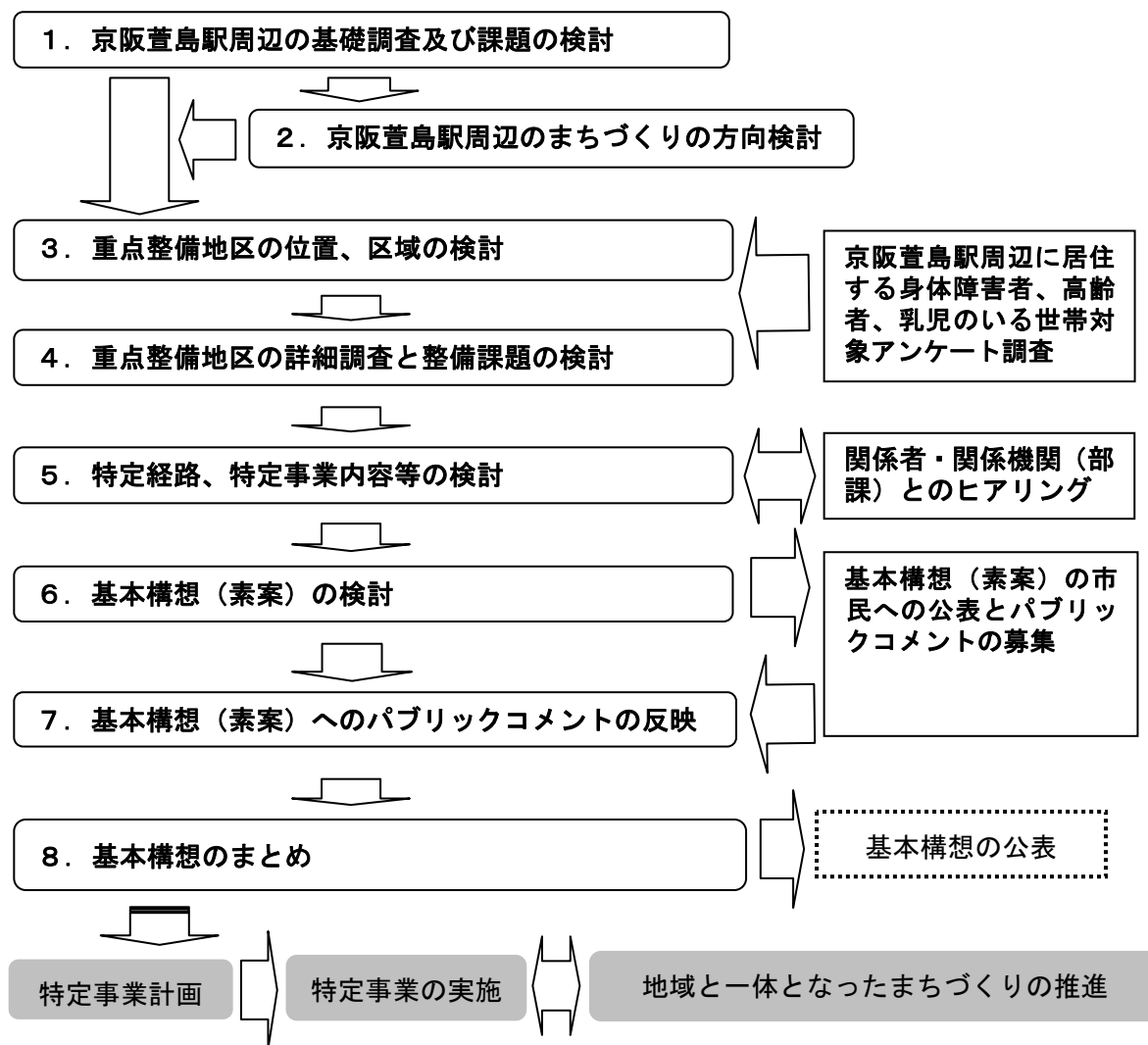
本市においても、市内鉄道 4 駅（京阪香里園駅、京阪寝屋川市駅、京阪萱島駅、ＪＲ学研都市線東寝屋川駅）を中心に、高齢者、身体障害者等が安心、便利に暮らせるバリアフリーのまちづくりが求められており、平成 14 年度には、「ＪＲ東寝屋川駅周辺地区交通バリアフリー基本構想」を策定しました。現在、この基本構想の実現に向けて、関係機関と連携し、具体的な事業への取り組みを進めています。

また、京阪萱島駅及びその周辺においても、高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化のためのバリアフリー化を推進し、地域の暮らしの中心として多くの人々の交流を促進していくことが求められています。

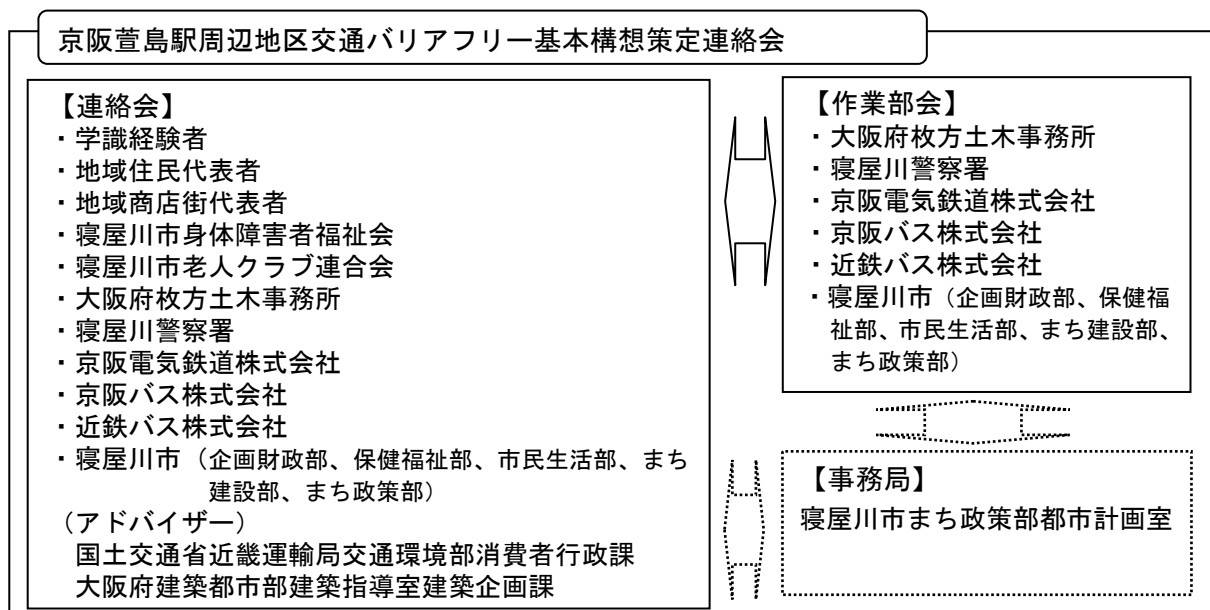
そのため、交通バリアフリー法に基づき、京阪萱島駅を中心としたバリアフリーの推進が必要な一定の区域を「重点整備地区」と設定し、駅とともに周辺の道路等のバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するため、交通バリアフリーに関する基本的な方針、実施すべき事業等を示した「京阪萱島駅周辺地区交通バリアフリー基本構想」を、次頁の手順と体制により策定いたしました。

バリアフリー：高齢者や障害者のある人が地域の中で、物理的、心理的な障害（バリア）を取り除き、普通に暮らせるようしていくこと

■基本構想策定の手順



■「基本構想」策定の検討組織と体制



第1章 寝屋川市及び京阪萱島駅周辺地区の概況

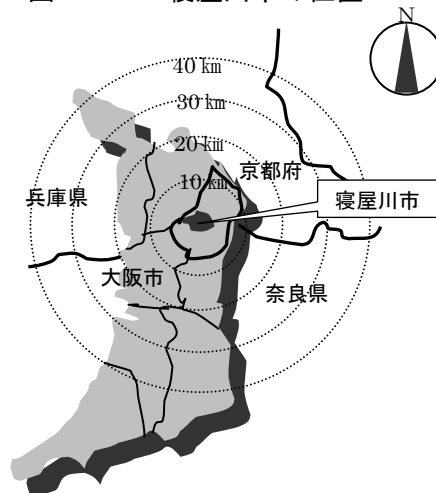
1-1. 寝屋川市の概況

1-1-1. 寝屋川市の位置及び面積

本市は、大阪府の東北部、淀川左岸にあり、大阪市の中心部まで約 15 km、鉄道で約 20 分～30 分のところに位置した面積 2,473ha の都市です。

市の東部は生駒山系の緑豊かな自然環境が、市の西部は淀川の水と緑豊かな自然環境が形成されています。

図 1-1 寝屋川市の位置



1-1-2. 人口・世帯数

(1) 人口・世帯数の推移

本市は昭和 26 年（1951 年）5 月に人口 31,061 人の都市として市制を施行し、平成 13 年（2001 年）には市制施行 50 周年を迎えました。

市制施行当時は、市内のいたるところに田や畑が広がる風景もみられました。その後、昭和 30 年代後半からの高度経済成長期に、人口の急増や市街地の急速な拡大等が進み、今日の寝屋川市に至っています。

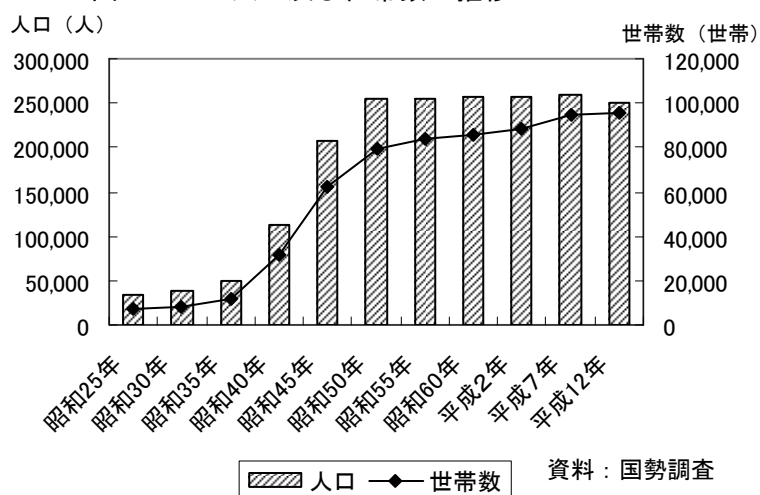
昭和 35 年（1960 年）の国勢調査では約 5 万人、1 万 2 千世帯でしたが、昭和 45 年（1970 年）には約 20 万 6 千人、6 万 2 千世帯となり、この 10 年間に人口は約 4 倍、世帯数は約 5 倍になりました。その後も人口・世帯数は増加し、昭和 60 年（1985 年）の国勢調査では、人口約 25 万 8 千人、世帯数 8 万 5 千世帯となりました。

その後も世帯数は増加しており、平成 7 年の世帯数は 94,345 世帯でしたが、平成 12 年では 95,313 世帯となり、968 世帯増加しています。

一方、人口は減少する傾向にあり、平成 7 年の国勢調査では 258,443 人でしたが、平成 12 年では 250,806 人となり、この 5 年間で 7,637 人減少しています。

なお、平成 17 年 1 月 1 日の住民基本台帳人口は、248,318 人、世帯数は 102,658 世帯となっています。

図 1-2 人口及び世帯数の推移

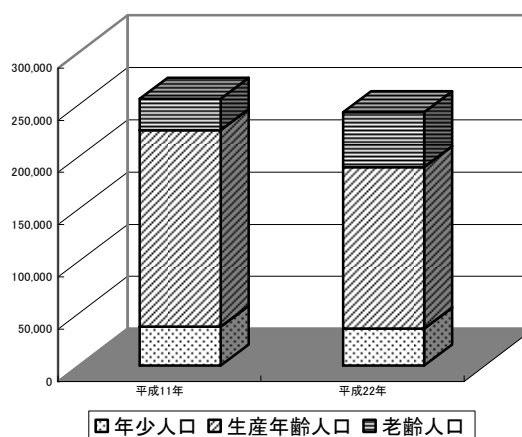


(2) 将来の人口

本市の将来人口については、「第四次寝屋川市総合計画」において、図1-3、表1-1に示すような推計*を行っています。

この結果では、平成11年現在の総人口255,357人が、平成22年では約1万3千人減少し、総人口242,397人になると推計していますが、平成17年1月現在において年少人口が既に平成22年の推計値を下回っています。今後、より一層の少子高齢化が進むものと予測されます。

図1-3 年齢3区分別将来人口の推計



資料：第四次寝屋川市総合計画より

表1-1 寝屋川市の年齢3区分別将来人口の推計（第四次寝屋川市総合計画より）

	平成11年（実績）		平成17年1月1日（実績）		平成22年（推計）	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
年少人口 （0～14歳）	19,060人	18,088人	18,021人	16,890人	18,263人	17,360人
	37,148人（14.5%）		34,911人（14.1%）		35,623人（14.7%）	
生産年齢人口 （15～64歳）	95,120人	93,073人	86,692人	86,736人	77,708人	76,961人
	188,193人（73.7%）		173,428人（69.8%）		154,669人（63.8%）	
高齢人口 （65歳以上）	12,879人	17,137人	17,781人	22,196人	22,907人	29,198人
	30,016人（11.8%）		39,977人（16.1%）		52,105人（21.5%）	
総人口	127,059人	128,298人	122,494人	125,822人	118,878人	123,519人
	255,357人（100.0%）		248,316人（100.0%）		242,397人（100.0%）	

注）平成17年1月1日の人口には年齢不詳人口（男性：1人、女性：1人）は含まれていません。

1-1-3. 高齢者・身体障害者等

(1) 高齢者

本市の将来の高齢者人口について、前述した「第四次寝屋川市総合計画」において推計した結果からみると、平成11年現在の総人口255,357人、高齢（65歳以上）人口30,016人が、平成22年では、総人口242,397人、高齢（65歳以上）人口52,105人になると推計しています。

このように、概ね10年後の平成22年の高齢人口は、平成11年から約2万2千人増加し、総人口に占める65歳以上の高齢人口の割合も、平成11年の11.8%から21.5%と約10%増加すると推計しています。

(2) 障害者

平成17年1月1日現在の本市の身体障害者手帳所持者は7,222人となっています。

なお、平成 17 年 1 月 1 日現在の住民基本台帳人口は 248,318 人で身体障害者手帳所持者は人口の約 3 %となっています。

また、身体障害者手帳所持者のうち 29.1%が 1 級、19.0%が 2 級の所持者であり、重度の身体障害者の比率も高くなっています。

表 1－2 身体障害者手帳所持者数（平成 17 年 1 月 1 日現在）

	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	計
視覚障害	163	146	35	38	51	46	479
視覚	17	34	12	11	17	9	100
聴覚＊平衡機能障害							
聴覚	89	191	82	107	2	224	695
平衡機能			1		5		6
音声＊言語＊そしゃく	2	6	43	23			74
音声＊言語	1	1	4	6			12
そしゃく							
肢体不自由	158	168	54	45	25	18	468
上肢	333	337	176	168	99	88	1,201
下肢	96	196	297	722	205	69	1,585
体幹	98	220	163	9	80	1	571
片麻痺	15	35	44	1	11		106
脳原生上肢	7	4	4	1			16
脳原生移動	19	12	4	2		1	38
内部障害		2	1				3
心臓	503	12	194	208			917
腎臓	507	4	14	2			527
呼吸器	88	3	58	28			177
ぼうこう		1	10	57			68
直腸			10	156			166
小腸	3	1	1	8			13
合計	2,099 (29.1%)	1,373 (19.0%)	1,207 (16.7%)	1,592 (22.0%)	495 (6.9%)	456 (6.3%)	7,222 (100.0%)

1－1－4. 市内の公共交通

本市の主要な公共交通は、市内中央部を南北に通過する京阪電車と東部を南北に通過する J R 学研都市線などの鉄道と鉄道の駅を中心にサービスしている乗合バスです。

(1) 鉄 道

鉄道は、市内に京阪電車の「香里園」「寝屋川市」「萱島」の 3 駅と J R 学研都市線の「東寝屋川」駅があります。

これら市内の鉄道駅について、平成 10 年と平成 14 年の乗降客数をみると表 1－3 のようになっており、京阪電車、J R の各駅ともに乗降客数が減少傾向を示しています。

なお、京阪萱島駅における平成 14 年の 1 日当りの乗降客数は 29,640 人／日です。

図 1-4 寝屋川市及び周辺の主要な交通網と鉄道駅

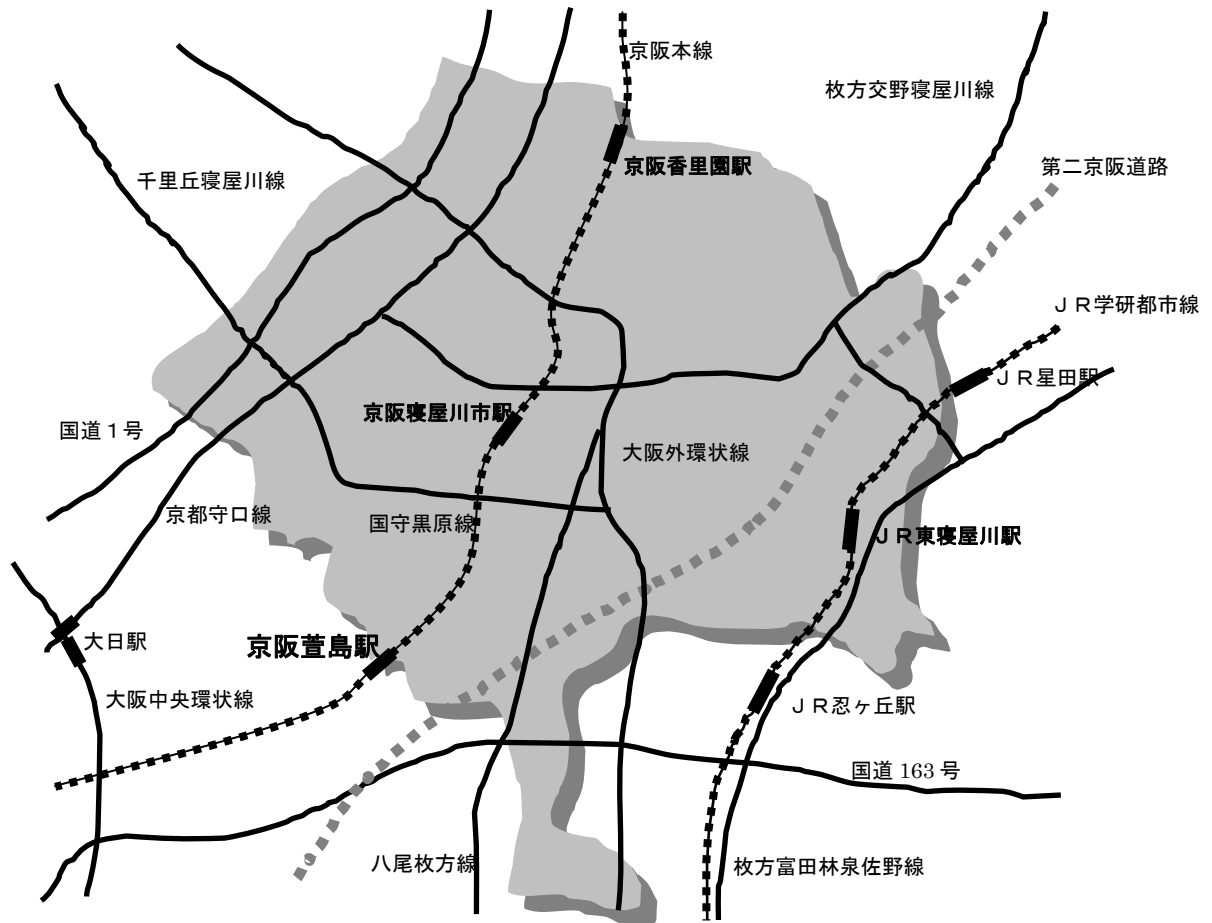


表 1-3 市内鉄道各駅の 1 日当たり乗降客数 (人/日)

	平成 10 年			平成 14 年		
	総数	定期	定期外	総数	定期	定期外
京阪香里園駅	70,407	45,252	25,155	64,781	37,617	27,164
京阪寝屋川市駅	81,140	51,840	29,300	76,921	46,608	30,313
京阪萱島駅	34,717	22,520	12,197	29,640	17,832	11,808
J R 東寝屋川駅	10,696	7,502	3,194	10,000	6,996	3,004

資料：京阪電気鉄道株式会社及び西日本旅客鉄道株式会社

また、市内各駅の定期券旅客について、居住地の最寄駅と就業地・学校等目的地の降車駅の乗客の交通手段をみると表1－4のようになっています。特に、京阪萱島駅周辺地区に居住する定期券旅客（乗車客）の京阪萱島駅までの交通手段は、5割強が徒歩で、4割弱が自転車となっています。また、京阪萱島駅周辺地区に通勤・通学する定期券旅客（最終降車客）の京阪萱島駅からの交通手段は、約9割が徒歩で、1割弱が自転車となっています。

表 1－4 市内各駅の定期旅客の端末交通手段

上段：人 下段：％

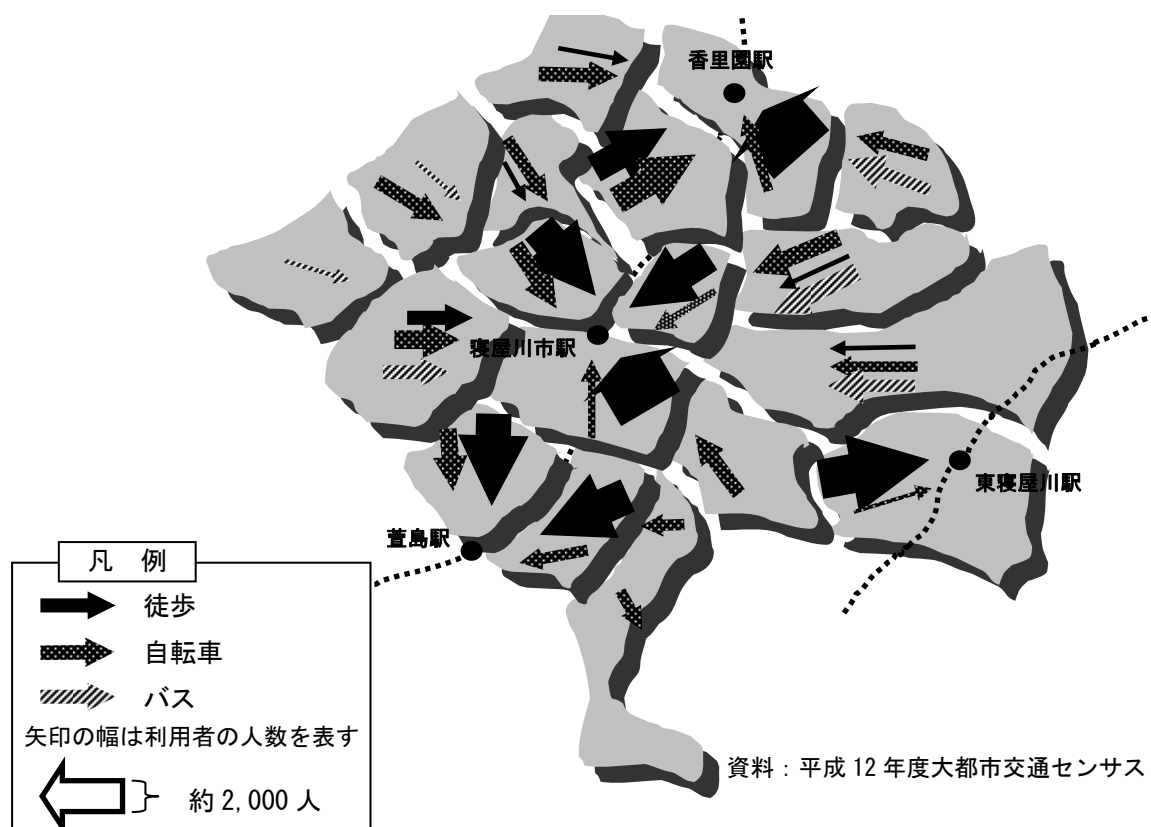
		合計	徒歩	自転車	バイク	車 (送迎)	車(そ その他)	送迎 バス	バス	タクシ ー	その他	不明
香里園	初乗り	19,611 100.0%	8,953 45.7%	4,060 20.7%	574 2.9%	296 1.5%	90 0.5%	—	5,463 27.9%	13 0.1%	0 0.0%	162 0.8%
	最終降車	4,657 100.0%	3,943 84.7%	207 4.4%	15 0.3%		0 0.0%	13 0.3%	353 7.6%	0 0.0%	0 0.0%	126 2.7%
寝屋川市	初乗り	19,810 100.0%	7,144 36.1%	7,536 38.0%	736 3.7%	391 2.0%	36 0.2%	—	3,742 18.9%	24 0.1%	23 0.1%	178 0.9%
	最終降車	15,037 100.0	9,848 65.5%	2,684 17.8%	98 0.7%		0 0.0%	200 1.3%	1,851 12.3%	13 0.1%	13 0.1%	330 2.2%
萱島	初乗り	10,844 100.0%	5,769 53.0%	4,214 38.7%	206 1.9%	96 0.9%	40 0.4%	—	304 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	255 2.3%
	最終降車	2,089 100.0%	1,855 88.8%	127 6.1%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	25 1.2%	0 0.0%	16 0.8%	66 3.2%
東寝屋川	初乗り	2,348 100.0%	1,885 80.3%	297 12.6%	34 1.4%	35 1.5%	46 2.0%	—	33 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	18 0.8%
	最終降車	356 100.0%	323 90.7%	33 9.3%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

注) 初乗り：居住地からの乗車

最終降車：目的地の降車

資料：平成 12 年度大都市交通センサス

図 1－5 市内各地からの利用鉄道駅と駅までの主要な交通手段



なお、京阪萱島駅の定期券利用者について、居住地及び通勤・通学先の市別の内訳をみると表 1－5 のようになっており、寝屋川市内居住者や通勤・通学者が全定期券利用者の 57.8% を占め、他市（門真市：24.7%）よりも多く利用されています。

表 1-5 京阪萱島駅の市別・流出入別・端末交通手段別・定期旅客数（人／日・片道）

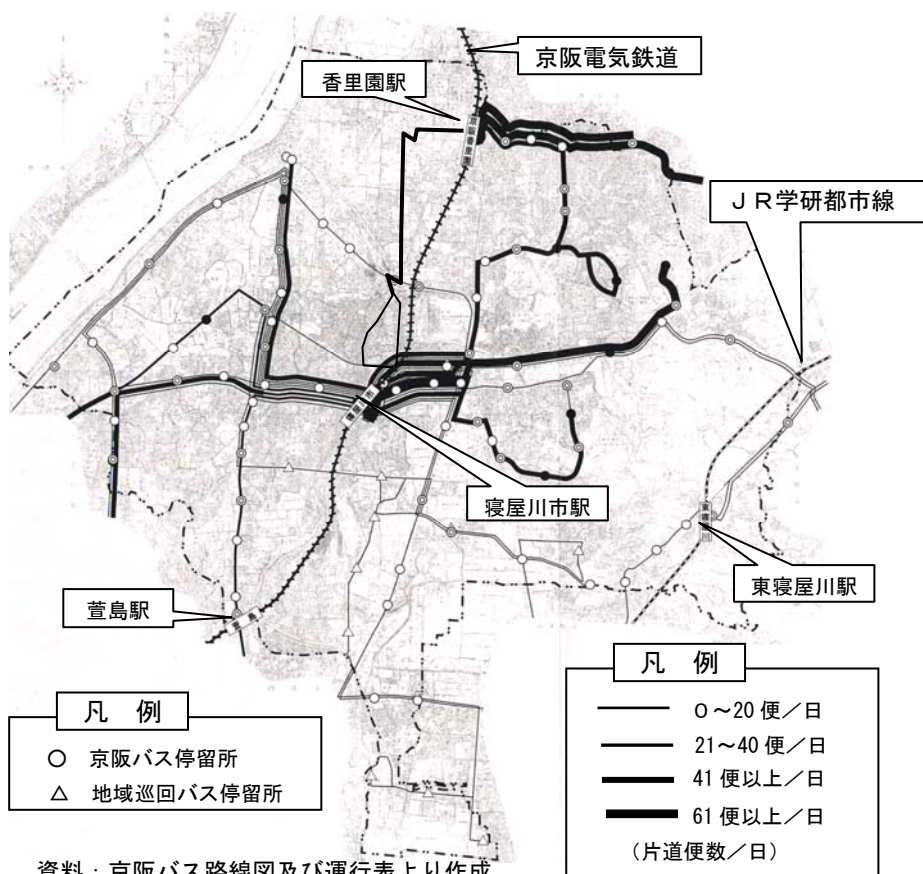
居住地	流出入の別	合計	端末交通手段別								
			徒歩	自転車	バイク	車（送迎）	車（他）	バス	タクシー	その他	不明
寝屋川市	（市内→市外）	6,817	3,957	2,432	73	35	28	136	0	0	156
	（市外→市内）	678	598	52	0	0	0	0	0	16	12
	計	7,495	4,555	2,484	73	35	28	136	0	16	168
	割合	57.8%	35.1%	19.1%	0.6%	0.3%	0.2%	1.0%	0.0%	0.1%	1.3%
門真市	（市内→市外）	2,980	1,376	1,225	121	50	0	120	0	0	88
	（市外→市内）	229	167	62	0	0	0	0	0	0	0
	計	3,209	1,543	1,287	121	50	0	120	0	0	88
	割合	24.7%	11.9%	9.9%	0.9%	0.4%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.7%
その他	（市内→市外）	951	338	519	12	11	12	48	0	0	11
	（市外→市内）	1,068	994	13	0	0	25	0	0	0	36
	計	2,019	1,332	532	12	11	37	48	0	0	47
	割合	15.6%	10.3%	4.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.4%
不明	（市内→市外）	136	98	38	0	0	0	0	0	0	0
	（市外→市内）	114	96	0	0	0	0	0	0	0	18
	計	250	194	38	0	0	0	0	0	0	18
	割合	1.9%	1.5%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
合計	（市内→市外）	10,884	5,769	4,214	206	96	40	304	0	0	255
	（市外→市内）	2,089	1,855	127	0	0	25	0	0	16	66
	計	12,973	7,624	4,341	206	96	65	304	0	16	321
	割合	100.0%	58.8%	33.5%	1.6%	0.7%	0.5%	2.3%	0.0%	0.1%	2.5%

(2) 乗合バス

鉄道とともに公共交通機関として乗合バスが、図 1-6 に示すように市内を走っています。この乗合バスの路線は、京阪香里園駅や寝屋川市駅を中心に編成されています。

京阪萱島駅は、駅前広場に乗合バスが乗り入れられていないもの、駅から少し離れた府道木屋門真線にバス停留所があり、京阪バスが大和田駅と高柳・寝屋川市駅を、近鉄バスが京阪萱島駅と近鉄荒本駅を連絡しています。

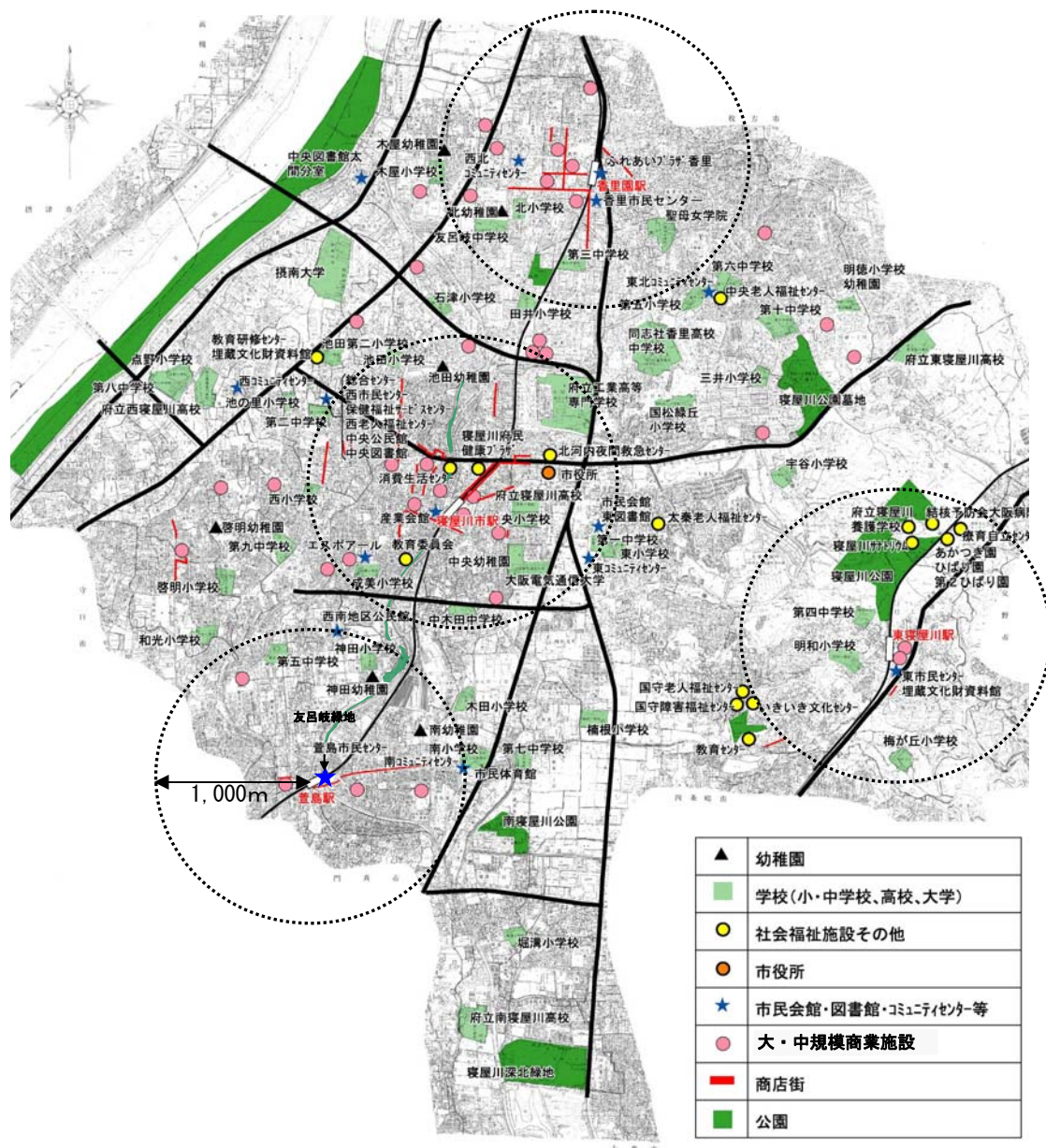
図 1-6 乗合バスルート（サービス頻度）図



1-1-5. 市民の利用する主要な施設

市内の公共施設や商業施設など市民が利用する主要な施設の分布をみると図1-7のようになっています。市民の利用する多くの施設は寝屋川市駅の周辺に比較的多く立地しています。その他、各鉄道駅周辺にも市民が利用する施設が立地しています。

図1-7 市内の主要な市民利用施設分布図



1－2．京阪萱島駅周辺地区の概況

1－2－1．地区の概況

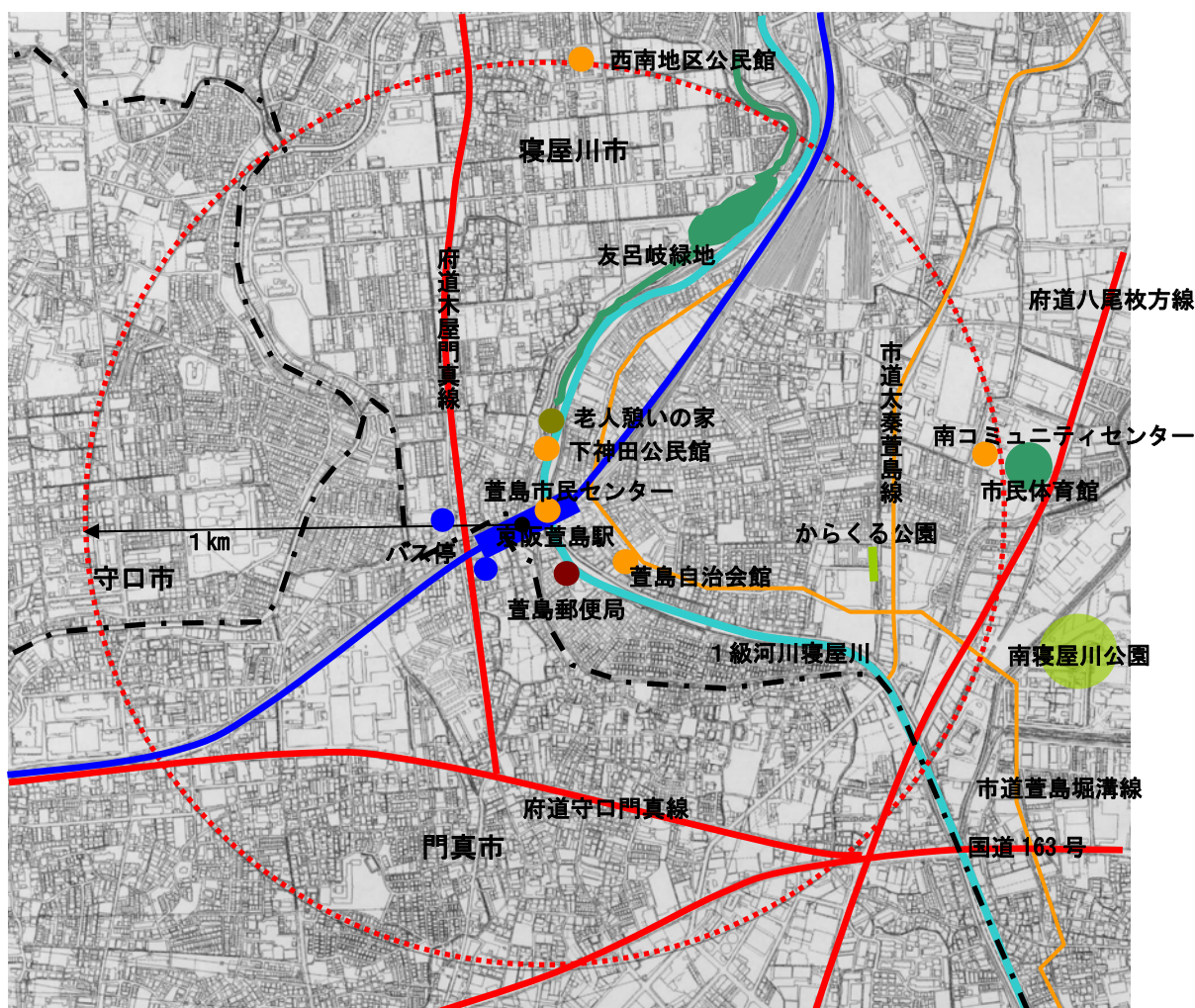
京阪萱島駅周辺地区は、寝屋川市の南西に位置し、門真市や守口市と隣接しています。

京阪萱島駅周辺地区は、昭和 30 年代後半からの高度経済成長期に建設された木造共同賃貸住宅などが密集する地域となっていますが、「密集住宅市街地整備促進事業」などにより住環境が整備されつつあります。

京阪萱島駅から周辺 1 km の範囲に立地する寝屋川市内の公共公益施設をみると、駅の東改札口前に萱島市民センターがあり、駅の東側地区では、萱島自治会館、市民体育館、南コミュニティセンター、からくる公園などが、駅の北西側地区では、老人憩いの家、下神田公民館、下神田公民館、友呂岐緑地、西南地区公民館などがあります。

また、駅の近辺には、萱島中央商店街や萱島一番街、京阪トップ商店街、萱島銀座商店街などの商店街やスーパーなどがあり、周辺住民の日常の買い物の場となっています。

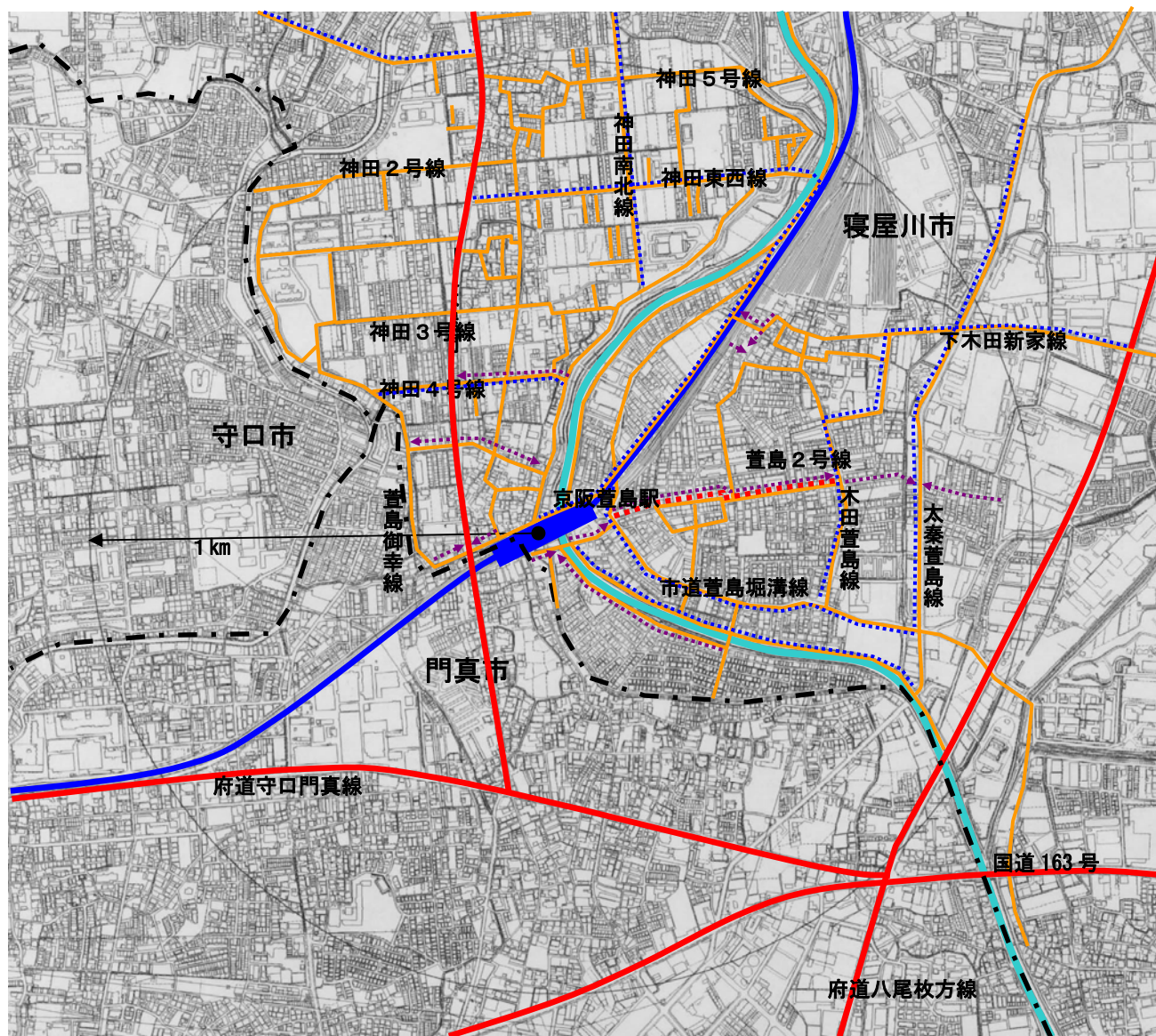
図 1－8 京阪萱島駅周辺地区の概況図



1-2-2. 地区の道路網

京阪萱島駅周辺地区は、図1-9に示すように府道八尾枚方線や府道木屋門真線等の幹線道路と市道萱島堀溝線や市道太秦萱島線等により道路網が形成されていますが、私道も多く、道路幅員の狭い区間もあります。また、大型自動車の通行禁止等の通行規制も行われている道路があります。

図1-9 京阪萱島駅周辺の道路網及び交通規制現況図



凡 例

- 国道及び府道
- 市道

交通規制

- ⋯ 車輛の通行禁止（時間規制） * 7-9 & 15-17
- ⋯ 大型自動車等の通行禁止
- ← 車輛の一方通行（矢印の方向のみ通行可）